

太宰府西中学校創立38年を迎えて思ったこと

今日は、先週の活動を振り返りたいと思います。

5日(土)には樟蔭のつどいのつどい代わりPTA主催『松蔭オリンピック』が開催されました。コロナ禍において、樟蔭のつどいは、飲食を伴ったり、地域から物品を集めたりという活動が難しく、中止となりました。そこで昨年度から「何か子ども達が学校生活を楽しんでいる様子を保護者の方に見ていただきたい」という主旨のもと検討した結果、『松蔭オリンピック』を開催することとなりました。昨年度の取組を振り返り、4種目のうち3種目は昨年同様とし、トランプのみペットボトルボーリングに代えて実施しました。

子ども達は2時間枠でしたがとても楽しそうに競技をしていました。学校の授業では見られない笑顔や真剣な顔を見ることができました。保護者の皆さまにも多分、いつもと違う姿を見ていただけたことと思います。

このような行事を開催していただいたPTAには感謝します。代替行事とは言え、開校を祝う行事を行えたこと、子ども達からたくさんの笑顔や元気をいただけたこと、保護者の皆様に子ども達の様子を参観していただけたことは、大変大きな成果です。

毎日、子ども達の姿を見てみると気づかないことも、行事をとおして見ると気づくことがあります。太宰府西中学校創立38年目を迎え、子ども達がすくすく育っていることを感じます。時代が変わると共に子ども達の様子も変化をしていきますが、今の明るく元気で楽しく学校生活を過ごし、意欲的に物事に取り組む子ども達をこれからもさらに伸ばしていきたいと思いました。



各学年の優勝クラスです。皆、よい笑顔でした
今年は優勝トロフィーも準備していただきました

☆ 美術部 Tシャツにデザイン画

保護者の方が来校される機会のため、美術室に先日の文化発表会で展示した美術部の作品を再度展示しました。Tシャツにペイントをしたものです。力作揃いでした。事前にもっと告知をして、多くの方にご覧いただきたかったと思い、反省しています。写真でお楽しみください。

